

■ 平成28年8月17日 エネルギー政策推進特別委員会県内調査

東吉野つくばね小水力発電所（吉野郡東吉野村）

【調査目的】 地域資源を活用した小水力発電について

【調査概要】 東吉野つくばね小水力発電所について説明を受け、現場見学を実施

<説明の概要>

●発電所建設の背景

- ・東吉野村の現状と課題
限界集落から消滅集落への危惧（27年国勢調査：過疎化ワースト10）
過疎化・高齢化 ← 人口2084人のうち、65歳以上が約48%。
- ・地域の宝、自然エネルギーを活用して、問題解決の一助へ。
小水力発電の復活
域内循環経済の確立

●発電所の概要

- ・最大出力 82Kw
- ・最大使用水量 0.1m³/s
- ・有効落差105メートル
- ・水車 クロスフロー水車

●発電所建設の経緯

- | | |
|----------|---------------------|
| 2011年7月 | 「元気な東吉野村と林業をめざす会」発足 |
| 2013年8月 | 「東吉野村小水力利用推進協議会」発足 |
| 2014年11月 | 「東吉野水力発電株式会社」設立 |
| 2015年6月 | 起工式・着工 |

●東吉野水力発電株式会社の運営

- ・非営利型、市民参加で運営。収益は基金として積み立てる。
- ・ミュージックセキュリティーズ株式会社を通じて、市民ファンドを組成。
- ・総事業費約2億2千万円
市民ファンド5,250万円（37都道府県、278名の出資者）
- ・株式会社CWSは、東吉野水力発電株式会社の設立に関わり、協力・支援。
- ・年間売電見込 約2,000万円

○質疑応答

問：取水堰堤のところで、旧簡易水道の水利権がどのようになっていたのか。

答：水利権そのものがなかった。

下流側にはつくばね漁協があり、アマゴ釣りなどをやっているのだから、水利権はあるが、上流側にはない。

問：収益は基金として積み立てるとのことだが、年間の収益見込はどれぐらいか。

答：売り上げは、1キロワット34円で計算すると、年間約2000万円になる。

施設費用の減価償却や維持費、人件費などを必要経費を勘案すると、年間200万円から300万円の利益を見込んでいます。

【施設見学】

